

千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム 2024年度事業実施内容とその評価

項目	事業	中長期計画の 数値目標 (評価指標) 等	2024年度当初事業計画	2024年度実施内容	コンソーシアムの評価
目標Ⅰ 各大学間の連携の推進					
課題① 教育の質の保証・向上（授業内容等の改善）	共同FD（ファカルティ・ディベロップメント）	年延べ30名以上の参加	共同ファカルティ・ディベロップメントを企画し実施する。 <年1回以上延べ30名以上の参加を目標とする>	「第26回法政大学FDワークショップ」（コンソ共催） 「学校改革で社会が変わるーVUCA 時代における組織マネジメントから学校変革を促すー」をテーマに9月6日にオンラインで開催し、教職員93名が参加した。	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。
課題② 教育の質の保証・向上（教育研究活動等の適切かつ効果的な運営）	共同SD（スタッフ・ディベロップメント）	年延べ50名以上の参加	大学間職員人事交流制度を利用した職員の派遣・受入れを実施する（年1回）。 その他、共同スタッフ・ディベロップメントを企画し実施する。 <上記を合計して年延べ50 名以上の参加を目標とする>	「2024年度大学間人事交流制度による職員合同研修」 7～9月の3か月を期間として実施し職員11名が参加した。 千代田コンソ共同SD「千代田区キャンパスコンソ単位互換制度の効果的な運営」 オンラインで実施し、職員17人が参加した。 「第26回法政大学FDワークショップ」（コンソ共催） 「学校改革で社会が変わるーVUCA 時代における組織マネジメントから学校変革を促すー」をテーマに9月6日にオンラインで開催し、教職員93名が参加した。	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。
課題③ 各大学間の学生の交流の活性化	学生共同ボランティア	年間延べ100名以上参加	学生合同ボランティアを含む正課・正課外のプログラムを企画し実施する。 <年間延べ100名以上参加を目標とする>	正課・正課外プログラムの開催 千代田区キャンパスコンソが主催・共催・協力等で関わるボランティアを含む正課・正課外の23件のプログラムを開催し、合計延べ551名の学生が参加した。 ●「逃げ遅れた」をなくすために私たちができること ●海洋ゴミアート企画 ●学生による語り部 ●ダウン症講義企画 ●つながるゼミ ～災害ボランティアについて学ぼう！～ ●「学習の貧困」～私たちにできること～ ●海洋プラスチックのリサイクルについて学ぼう！ ●災害時におけるSNS講座 ●教養教育科目「自己開発」千代田区フィールドワーク ●獣害対策講座～獣と人間の共生について ●神保町古書店街写真プロジェクト ●ちよださくら祭り公式ガイドマップ2025製作プロジェクト ●神保町ワクワク魅力新発見（千代田区プレイスメイキング実証実験） ●金融リテラシー講座 ●「SDGsで溢れる街」AKASAKAを どう創出するか（TBSホールディングス） ●災害救助犬を知ろう！～災害救助犬の役割とは？～ ●ダウン症の方と一緒に大学祭をまわろう！共に生きる未来へ～多様性を楽しもう～ ●みんなで考える動物園のサステナビリティ～札幌市円山動物園ってどんなところ？～ ●手話講座特別編 ●「若者 可能性 ♪ アフリカ ー自らの、そして他者の可能性を拓こう！ー」 ●世界の若手リーダーのキャリアを聞こう！ ●「未来のグリーン・イノベーションラボ in 千代田」～脱炭素社会を学び、未来を創る行動を考えよう！～ ●盲導犬を知ろう～視覚障がい者と盲導犬への理解を深める学びと体験～	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。

項目	事業	中長期計画の数値目標（評価指標）等	2024年度当初事業計画	2024年度実施内容	コンソーシアムの評価
課題④ 多様な学びの提供	単位互換の実施	単位互換科目の履修者数（前年度比5%増）	単位互換科目受講者数増の施策を検討し実施する。 複数大学による共同開講授業を1科目以上開講する。 大学連携による新たな共同開講授業の実現に向けた検討を行う。	<u>単位互換</u> 履修者数（実数）は、前年度122名から31.1%減の84名となった（前々年度と同数）。また、受講対象科目400科目のうち、実際に学生が受講した数は86科目、構成比率は21.5%であり、前年度の84科目、同構成比率29.9%から、科目数は2.4%増、構成比率は8.4%減となった。 2024年6月には、千代田コンソ共同SDとして「千代田区キャンパスコンソ単位互換制度の効果的な運営」をテーマに研修・検討を行った。引き続き、広報活動を含め受講者増につながる施策を展開する。 <u>共同開講授業</u> 複数大学が授業を編成・開講する共同開講授業として、以下3科目をコンソ単位互換科目として開講された。 ●「現代政策学特講Ⅰ（千代田区）」 ●「地域文化理解Ⅰ」 ●「社会連携フィールドワーク（ベーシック）大規模自然災害発生時の大学キャンパスでの避難生活のマネジメントⅠ ～千代田キャンパスコンソおよび近隣企業との連携～」 <u>サティフィケートプログラムの拡大施策の検討</u> 単位互換制度の枠組みを利用して、法政大学のSDGs科目群の科目を履修するなどの条件を充たした法政大学以外の学生に対して「法政大学SDGsサティフィケート」を交付する取り組みを2023年度から開始した。今後のサティフィケート取得者増に向け、周知方法等広報施策を含めた検討を進める。	単位互換科目の履修者数については、数値目標未達となった。次年度以降に向けて、受講者数の増及び単位互換制度の更なる発展に向けての調査・論点整理を行う。 共同開講授業については、計画以上の実施ができた。 単位互換制度の枠組みを利用して開始したサティフィケートプログラムについて、取得者拡大に向け、施策を検討する必要がある。
目標Ⅱ 各大学と千代田区（関係団体等を含む）との連携の推進					
課題⑤ 千代田区への研究成果の還元	「千代田学」事業	年5件以上採択	「千代田学」事業の研究成果を還元する取り組みを実施する。＜年1回以上＞ 区内在住・在勤者等を対象とした研究成果を還元する公開講座を大学間で連携して行う。	<u>「千代田学」事業</u> 2024（令和6）年度の「千代田学事業」に、大学ごとの単独事業として1件（共立女子大学）、複数大学による共同提案事業として「大規模災害時における学生ボランティアの育成とネットワーク化に関する研究」（6大学・2短期大学）が採択された。 共同提案事業は、千代田区キャンパスコンソの共同研究として位置付け、その研究成果を千代田区キャンパスコンソのウェブサイトで公開したほか、千代田区主催「ちよだコミュニティラボライブ！2025」で成果発表（2025年3月）を行った。 <u>共同公開リレー講座「ちよだで学ぶ 2024ー自分の中のワクワクを見つけようー」</u> 各大学・短期大学の合計19の公開講座をリレー形式で開催した。	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。
課題⑥ 地域コミュニティの活性化	地域向けイベント等開催又は参画	地域在住・在勤・在学者 延べ1,000名以上の参加 又は 年間5件以上の開催 又は参画	研究成果の還元などを通した、地域コミュニティ活性化に資する事業を企画し実施し又は参画する。 ＜地域在住・在勤・在学者延べ1,000名以上の参加 又は 年間5件以上の開催又は参画＞	<u>地域向け・地域連携型イベント・講座</u> 千代田区キャンパスコンソが主催・共催・協力・協賛・後援する、地域向けまたは地域と連携したイベントや講座を開催した。これらには、学生等を含め合計872名の参加があった。 ●神保町古書店街写真プロジェクト ●中高生サマーチャレンジプログラム（千代田CULTURE×TECH） ●神保町ワクワク魅力新発見（千代田区ブレイスメイキング実証実験） ●環境学習ワークショップ ～クイズゲーム編～ ●金融リテラシー講座 ●BOOK MEETS NEXT2024 ●書き初め勉強会 ●「未来のグリーン・イノベーションラボ in 千代田」～脱炭素社会を学び、未来を創る行動を考えよう！～ ●共同公開リレー講座「ちよだで学ぶ 2024ー自分の中のワクワクを見つけようー」 ●千代田さくら祭り2025公式ガイドマップ製作プロジェクト 昨年度に続き、2025年3月配付用ガイドマップの製作プロジェクトとして、千代田区商工業連合会（千代田観光まちづくり実行委員会）との共催で実施し、8月から11名の学生が参加して実施。	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。 共同公開リレー講座には合計19の講座に547名の参加があった。

項目	事業	中長期計画の数値目標（評価指標）等	2024年度当初事業計画	2024年度実施内容	コンソーシアムの評価
課題⑦ 地域の教育支援	地域向け共同公開講座等の実施	年1回以上実施	地域の教育に資する共同公開講座等の事業を実施する。＜年1回以上実施＞ 社会人のキャリア形成に資するプログラム等を企画し実施する。＜年1回以上実施＞ 各大学と千代田区の教育リソースの共有や教育連携を検討する。	●共同公開リレー講座「ちよだで学ぶ2024ー自分の中のワクワクを見つけようー」地域在住者等を対象として6月に開始した。オンライン（オンデマンド）又は対面で年間19講座を開講し、合計547名が受講。 ●2024年度キャリア形成支援講座「人生100年時代の学び直し～自分を磨き、未来を創る～」社会人のキャリア形成・学び直しの支援として、オンライン・オンデマンドで9講座を開講。275人（申し込みベース）が受講。 ●中高生サマーチャレンジプログラム（千代田CULTURE×TECH）区内在住の中学生・高校生向けのプログラムで、千代田区主催、千代田コンソ協力により実施。コンソ各大学の取り組みを説明。中・高校生10名が参加して8月に実施。 ●キッズ対象環境学習ワークショップ ～クイズゲーム編～区内小中高校生を対象に9月28日に共立女子大学・共立女子短期大学で開催した。千代田区内小学生親子4名が参加。 ●日常生活からSDG sを学ぼう～お譲り交換会～区内在住の勤他の児童・生徒（小学生～高校生）及びその保護者を対象に、3月15日に大妻女子大学で開催した。自宅でも不要になった子ども服等の交換会を実施するとともに、コンソ各大学のSDG sに関する取り組みを展示・解説し、312名が参加した。	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。
目標Ⅲ 各大学と地域産業界等との連携の推進					
課題⑧ 学生による地域産業振興支援	地域産業界との連携教育プログラムの実施	年1企業以上との実施	地域の産業振興に資する事業（連携教育プログラム等）を企画し実施する。＜年1回以上との実施＞	●千代田さくら祭り2025公式ガイドマップ製作プロジェクト2025年3月配付用ガイドマップの製作プロジェクトとして、千代田区商工業連合会（千代田観光まちづくり実行委員会）との共催で実施し、8月から11名の学生が参加して実施。	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。
目標Ⅳ 各大学と地方の大学との連携の推進					
課題⑨ 地方の大学との学生交流の活性化	相互参加型教育プログラムの実施	年1回実施	地方の大学の学生が参加する授業を単位互換科目として開講する。＜年1回実施＞	単位互換制度を利用した学生交流 ●「地域文化理解Ⅰ」には35人（うち京都府内学生5人）が受講した。 ●「現代政策学特講Ⅰ（千代田区）」には24名（うち沖縄県内学生4名）が受講した。	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。
目標Ⅴ 千代田区キャンパスコンソの運営基盤強化（千代田区キャンパスコンソが必要と認めた事項）					
課題⑩ 積極的かつ適切な情報公開	共同IRの実施と公表	年3項目以上分析・公表	共同IR報告書を作成し公開する。＜年3項目以上分析・公表＞	●【共同IR】数字で見る千代田区内近接大学の高等教育コンソーシアム（2023年度）2024年6月にコンソウェブサイトで公表した。	計画した事業に取り組んでいる。
課題⑪ 地域リスクマネジメント	災害時連携体制の検討又は事業実施	年1回以上の検討・事業実施	教育研究や管理運営に対する各種リスクへの対策を検討するとともに、リスクマネジメント体制を検証し、必要に応じて改訂を行う。	●リスク発生情報共有のための連絡訓練前年度と同様に「リスクマネジメント体制に関する申し合わせ」に基づく緊急時連絡訓練を9月に実施した。 ●千代田大学共同提案事業「大規模災害時における学生ボランティアの育成とネットワーク化に関する研究」（2024年4月～2025年3月） ●「いつでも・どこでも共立リーダーシップが発揮できることを目指した体験型 サマーキャンプ・帰宅困難者受入支援施設運営ゲーム（KUG）」（9月）	計画した事業を実施し、数値目標を達成できた。
課題⑫ 継続的検証体制の構築	事業取り組み状況・効果の評価	①コンソ主催連携事業参加者の参加満足度（各事業で90%以上） ②単位互換科目の履修者数（前年度比5%増）	事業取り組み状況・効果について、①コンソ主催連携事業参加者の参加満足度（各事業で90%以上）、②単位互換科目の履修者数（前年度比5%増）を指標として評価を行う。	①コンソ主催連携事業参加者の参加満足度 2024年度に実施したコンソ主催等事業10件の参加者アンケートにおける満足度は、87.5～100.0%の範囲となった（1件が90%未達、10事業平均で95.1%）。 ②単位互換科目の履修者数 履修者数（実数）は、前年度122名から31.1%減の84名となった。	対象事業のうち1件が90%未達（87.5%）となり、目標未達となった。ただし、平均では95.1%と高い数値を達成しており、引き続き、各事業での満足度確保に向けた取り組みを強化する。 単位互換科目の履修者数は前年度比減となっており、数値目標未達となった。

項目	事業	中長期計画の 数値目標 (評価指標)等	2024年度当初事業計画	2024年度実施内容	コンソーシアムの評価
課題⑩ 「(仮)第2期中長期計画」の策定	第2期中長期計画策定	—	—	第2期中長期計画(2025-2029年度)の検討を行い、2025年3月に策定・公表した。	当初計画どおり、第2期中長期計画を策定した。
その他の事項(千代田区キャンパスコンソが必要と認めた事項)					
— 千代田区キャンパスコンソの広報・調査	共同大学説明会・ニーズ調査	—	—	7月～8月に、共立女子大学・共立女子短期大学、東京家政学院大学、大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部のオープンキャンパス時に、千代田区キャンパスコンソの共同大学説明会を合計3回開催した。その際、来訪者(高校生・その保護者、外国人留学生等)等を対象として、進路に関する情報収集の手段の内容や、大学間で連携して実施している取組みのうち参加してみたい内容等についてアンケートを行った。 また、7月に、外国人留学生向け共同大学説明会を千駄ヶ谷日本語学校で行った。説明会時には、大学選択時に重視する点等を調査項目とするアンケート調査を行った。	大学間連携・地域連携に関するイメージや千代田区キャンパスコンソに期待することについて地域の声を把握することができた。
— 地域の声を把握する取組み	大学間連携・地域連携に関する意見募集	—	—	アンケート形式で大学間連携・地域連携に関する意見をウェブサイトで募集した。千代田区キャンパスコンソの取組みを知ってもらうこと、今後の取組みの検討にあたり参考にすることを目的としたこのアンケートみには、区内在住・在勤を含む23通の回答をいただいた。	大学間連携・地域連携に関するイメージや千代田区キャンパスコンソに期待することについて地域の声を把握することができた。

千代田区の意見
ちよだコミュニティラボライブでの令和6年度千代田学研究成果発表により、学生の皆さんに区内の多様な活動団体の存在とその活動について認識していただくことができたことはひとつの大きな成果であると考えます。また、この取り組みを通じて今後の大学連携と地域の多様な活動団体との連携・協働の展開が拡がることを期待するものです。 加えて、地域コミュニティ活性化「地域向けイベント等開催又は参画」や「地域向け共同公開講座」は、昨年度以上の種類を取り扱い、神保町のまちづくりに関すること、脱炭素社会に関することなど区の施策や課題に則したイベントや講座に多くの参加者があり、地域の学びの機会提供に資していただいているほか、地域との連携による顔の見える付き合いや学生が自身の学び舎の周辺に興味や愛着を持つきっかけとなったものと評価します。 また、大学連携・地域連携に関し地域の声を把握する意見募集は、区内大学が連携し、地域に密着した活動しを行っていることを知ってもらうためにも大変よい取り組みと考えます。 今後も本区の地域課題の解決にむけ、連携協力を継続して進めていただくとともに、コンソーシアムのさらなる発展を期待するものです。

千代田区商工業連合会の意見
千代田区キャンパスコンソーシアムは、学生と地域の連携を促進し、地域の魅力を発信するさまざまな取組みを展開しています。2024年度も、千代田観光まちづくり実行委員会との連携のもと、2021年度より実施している「千代田さくら祭り2025公式ガイドMAP製作プロジェクト」に取組みました。当プロジェクトにおいて、学生が企画・調査・取材・執筆・デザインを手がけた特集ページ「ちよだ よりみちさんぽ2025 千代田タイムトラベラーズツアー(謎解き編)」は、「千代田区の謎を解き、魅力発見!」をテーマに、読者がストーリーを読みながら、区内各所に実際に足を運んで謎を解く構成となっており、区内を回遊してもらいながら、千代田区がもつ歴史や文化を学生目線で伝える貴重なコンテンツとなりました。これらの活動においては、千代田区商工業連合会の加盟企業も参加して、企画の立て方や紙面構成、WEBデザインの指導等を行うなど、就業体験の位置づけも持ちながら進めました。学生たちは、企画立案から実施までのプロセスを経験することで、課題解決力や実践的なスキルを身につける貴重な機会を得たのではないかと思います。 千代田区には、歴史的な資産や文化的な魅力が豊富にあります。今後も多くの学生が地域活動に参画し、地域の魅力を深く理解するとともに、地域課題を共に考え、解決に向けた提案ができるような学びの機会を提供していくことを期待しています。 千代田区商工業連合会としても、千代田区キャンパスコンソーシアムが学生・教職員、千代田区、地域住民と連携しながら、地域の魅力をさらに高める取り組みを続けていくことを心より期待しております。